広域連携特別展示事業

秋山真之と日露戦争

櫻井眞清『秋山真之』（秋山真之会、昭和8年）

2018年7月18日(水)～9月10日(月)

開館時間　9:00～18:00（入場は17:30まで）
休 館 日　9月4日(火) ※ 7/24、7/31、8/7、8/14、8/21、8/28は開館
会　　場　大和ミュージアム1階　ガイダンスルーム
料　　金　無料

呉市海事歴史科学館
大和ミュージアム
〒737-0029 広島県呉市宝町5番20号
TEL：0823-25-3017
FAX：0823-23-7400
URL：http://www.yamato-museum.com/

▲日露戦争で連合艦隊旗艦を務めた戦艦「三笠」
（明治38〈1905〉年2月初旬 呉）

▲戦艦「三笠」と秋山真之（右端）
（明治33〈1900〉年4月 ヴィッカース社）

秋山真之は、慶応４(1868)年３月20日、松山で生まれました。平成30(2018)年は、真之の生誕150年、没100年の節目の年にあたります。この節目の年を記念し、坂の上の雲ミュージアム(愛媛県松山市)、村上水軍博物館(愛媛県今治市)、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）は、３館共催事業として、秋山真之を取り上げ、特別連携展示事業を実施します。

秋山真之は、日露戦争で連合艦隊参謀を務め、日本海海戦の勝利に大きく貢献しました。また、真之は、村上海賊に代表される「水軍」の戦術を学び、参考にしたといわれています。そして、真之の考案した戦術は、海軍の基本戦術として、その後の海軍の歴史に大きな影響を与えました。

特別連携展示事業では、秋山真之を中心に、中世の村上海賊から近代の日本海軍に至る海の戦術や技術を紹介します。このうち、大和ミュージアムでは、「秋山真之と日露戦争」と題し、秋山真之や、日露戦争と明治期の日本海軍に関する資料を展示します。本展示を通じて、真之が生きた明治という時代を感じていただければと考えています。

坂の上の雲ミュージアム・村上水軍博物館・大和ミュージアムは「海の歴史」をテーマに連携し、共同で調査・研究を進めていきます

坂の上の雲ミュージアム（松山市）

〒790-0001　愛媛県松山市一番町３丁目20番地
TEL：089-915-2600
URL：http://www.sakanouenokumomuseum.jp/

坂の上の雲ミュージアムは、松山のまち全体を屋根のない博物館とする『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想の中核施設として開館しました。
松山出身の秋山好古、真之兄弟と正岡子規の足跡や明治という時代に関する展示に加え、まちづくりに関するさまざまな活動を行い、訪れた人々が時の流れについて感じ、考える場を提供していきたいと考えています。

村上水軍博物館（今治市）

〒794-2203　愛媛県今治市宮窪町宮窪1285番地
TEL：0897-74-1065
URL：http://museum.city.imabari.ehime.jp/suigun/

瀬戸内を制した戦国最強の村上海賊。その村上海賊の本拠地の一つであり、小説「村上海賊の娘」の舞台となった能島城。史実に基づいた数々の戦国ロマンを体感できるのが村上水軍博物館です。日本遺産に認定された村上海賊のストーリーをわかりやすく学ぶことができます。
能島村上家伝来の貴重な品々の展示、鎧や小袖の着付け体験など、大人も子どもも楽しめる日本唯一の水軍博物館となっています。

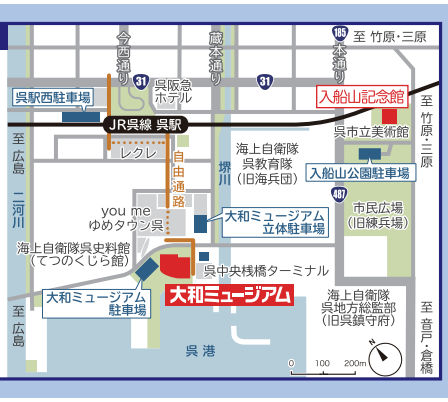
大和ミュージアム（呉市）

戦艦「大和」を建造した軍港、日本一の海軍工廠のまちとして栄え、戦後は、世界最大のタンカーを数多く建造する明治以降の「呉の歴史」と造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介する博物館。館内には、零式艦上戦闘機六二型などの貴重な実物資料の他、船を中心とした科学技術の原理を体験・体感を通してわかりやすく紹介している展示室があります。

アクセス

ＪＲ
JR広島駅からJR呉線 快速約32分
JR呉駅から徒歩約5分

自家用車
▶広島方面から広島呉道路約20分
→呉ICから約5分
▶山陽自動車道（広島東JCT）から
広島高速～広島呉道路約30分
→呉ICから約5分
▶山陽自動車道（高屋JCT）から
東広島・呉自動車道約40分

バス
▶広島バスセンターからJR呉駅前まで約46分
JR呉駅から徒歩約5分
▶広島空港からJR呉駅前まで約60分
JR呉駅から徒歩約5分

フェリー
呉中央桟橋から徒歩約1分